

オーブン カレツジ

両手にブリキのバケツと
ジョーロを持ち、田んぼの
脇を流れる小さな水路に水
をくみに行く。これを10回
ほど繰り返し、梅雨明け
から始まる私の朝の日課で
ある。

昨年の6月に、20年を過
ごした愛知県豊田市東梅坪
町から、連れ合いの故郷で
ある岐阜県各務原市の鵜沼

乾きの8月

約50畧の農地を所有して
おり、私はその半分を菜園
として使わせてもらうこと
にした。

初夏にジャガイモや小麦
を収穫し、梅雨前に夏野菜
の苗や種まきを終え、夏の
強い日射しを待ちわびてい
た。ところが梅雨が明ける
と雨が降らない。乾きゆく
畑を前に水やりの日課が定
着した。あたりを見回すと、
荷台いっぱい橙色の大き
な水槽を積んだ軽トラック
が走り回り、あるいは畑の

雨が少ない年と多い年の違
いは、主に台風が発生数や
その進路が影響しているの
であろう。一方で気温は1
から2度の上昇を示してい
た。

気候変動による

蒸発散量の増加

古市場町に転居した。集落
の周りは特産のニンジン畑
が広がり、所々に家庭菜園
が点在している。義父も10



山女学園大学
教育学部准教授
梶山 健太郎

野崎 健太郎

隅にある水栓から水を掛け
流しにしている。私は夏の
野菜づくりには大量の水が
消費されていることを実感
した。

8月は高温の晴天が続
き、この時期の東海地域は
確かに乾期といえる。ただ
し自分の肌感覚では、ここ
まで雨が少ないのは最近の
傾向ではないだろうかと思
じ、気象庁のウェブサイト

のざき・けんたろう 専門は
陸水学、科学教育。京都大学大
学院理学研究科植物学専攻博士
後期課程修了。博士(理学)。